

背番号は力ネヤンと同じ34

●小山乃里子の
華麗なる挑戦

△19▽

テレビの画面からは、ヤクルトの広岡サンの胴上げのもようが流れている。この日を待ち兼ねたファンが、内野や外野から球場に走り込んで来る。プロ野球のシーズンも終ったなあ。わが金ヤンもロッテを去るし、来シーズンからどこを応援したらいいんだろう。ああ、空虚なこの心。

しかし、あの胴上げ、本当に嬉しそうだなあなんて考えながら、ふと、そういえばこないだもたしか私の目の前で胴上げ騒ぎがあつたつけ。あれも嬉しそうだったけど、心だって本当は痛んでる。

本当にうちのチームってどうしてああ弱いんだろう。チームが結成されたのが、そんなたいそうなもんじやないな。つまり物好きが集まつたのが、夏の終りだった。いつも行く六甲の「GEN」でそんな話が出て、無理や



上 試合前のひととき。ハチマキなんかしちゃってさ。

中 おねえちゃん、なんでズッとベンチに座ってるの？

下 負けた後の弁当も美味しいモンです。

り九人集めて、誰がどこにポジション、なんて決めるよりもユニフォームの注文の方が先だった。それも出来るだけカッコの良いやつを、とロットのそれに似た、横のラインがだんだん太くなって足元に行く程細くなるという、割に足が長めに見えるデザイン。その時点での私の役割は、広報担当とチアガールだった。タンポン、もとえ、ポンポンを両手に、派手に応援するぜと約束したもんだった。

それが九月の第一日曜、朝四時起きのポートアイランド。対戦相手は六甲サンダース。健闘むなしく（とメンバーは言うが……）、十八対十三で負けた。私は行けなかったので、ずいぶんの打撃戦だったのねえと感心すれば、打てばヒットで、打たない時はフォアボール。どんな試合ぶりやら見当もつかぬ。それがその次の試合、これまで朝六時起きで出かけた明石のはずれ、相手は神戸

二紀。相手の顔ぶれを見れば、平均年令においてこちらが優位。いけまっせえ、と張り切れども、こちらが取った点数は数えたが、相手が何点取つたのか途中までは指數え、めんどうくさくなつて終わつて聞きに行つたら、なんと二十一点も取られていた。こちらはそれでも五点取つた。その試合振りを見ていて、私はがぜん使命感に燃えたのである。こらあかん、ノコが入らなあかんと。なんせねえ、外野に球が飛んだならそれはもう落ち地点に人がいようがいまいが、たいてい二塁打か三塁打。つまり、グラブに球がなつかないというか、なじまないというか。たまにフライを誰かが受けたものなら、ウオードの、ヤツタアーダの、まわりは大歎声だし、取つた本人もしばしうつとり。内野ゴロ、ああ取つた、投げた、一塁手のグラブに入った。アウト。と思いつや球は何故かポロリ。その試合を商売用の声をつぶしてまで



いっちょまえにユニフォーム着せてもらって、いっちょまえのフォームで投げてる様子は、まるで冰原勇氣！ そんなエエもんか。



アレッ? コラッ! 何で当たらへんのや!



これで受けてればアウトなんだがなあ。

応援しているうちに、ノコもユニフォーム作ろう、ノコが入らないかん、とかたく心に誓つたのである。申し出はすんなり通り、六甲のヤノスポーツの兄イちゃんが苦笑していたけど、スパイクからなにから一式そろえ、そして十月一日の試合にそなえた。

その間、ちょっと北海道に行つてる間に、今のゼロチームと試合をやつて、これは勝つたのだそうだ。夜中電話かかり、やつたあーとむこうでメンバーがわめいている。それにしても十三対十二。まあ一点差であろうが勝つということはいいことで、その調子でいこうぜと、一日の必勝を誓つたものだった。

そして当日。前日の雨が嘘みたいな素晴らしい秋晴れの日曜日。神戸市長杯をかけて、神戸美術家野球大会。参加は、行動美術、モダン・アート、神戸二紀、芸術学林、そして我がゼロ。「一番乗りで練習したもんだから、行進に移るころには汗ぐつしより。テントの下には市長杯をはじめ各トロフィイがずらりと並び、大会委員長が元町画廊の佐藤さん、来賓は近代美術館の橋崎館長、カードを持つて、いざ入場式。なんとなく高校野球の入場式みたいで、うれしくなっちゃう。選手宣誓はうちのチームのチューちゃん。

「我々は、堂々と誓うこと、誓いますう
ちこうてばっかりや。サイレンこそ鳴らなかつたがい
よいよ試合開始。

我がゼロと芸術学林の「はてしらーず」。むこうはやらのぼりなんぞひらめかせてにぎやかな応援。横のたれ幕をみて、みんな同時に「箱知らず」やつてよしといつた。普段マージャンばかりしてるのが丸わたり。河村カントクが、最初はベンチにいてくれるか、というので、不足ながらまたまた応援団。一回の表、なんと先頭バッタ一、ねばりにねばつてライト前。ついで、するすると二塁へ。草野球というのは実に盗塁がしやすい。こんなことがあっていいのだろうか。ワンナウト二塁三塁。押せ押せ。あー、三振。しかし、その裏、はてしらーずも

三塁の走者帰らずで0点。とにかく初回0点で押されたのは、チーム結成以来初めてのこと。みんなの顔が輝やいている。二回も、こっちも点は取らなかつたが（ランナーは出るんだけどなあ、後がどうもねえ）むこうにも点は取らせなかつた。いよいよもつてポジションから帰つてくる足取りも軽い。ひょっとしたら勝てるんではなうかなんて空気がもはやベンチにただよいだした。三回一点取られた。一点位点のうちに入らん、次は大量得点でいこうぜ。まだ足取りは軽かつた。しかし、どうしても点が取れない。四回、カントクに出さしてくれといいに行こうかなあ、まだいいかなあ。と、ここでうちのピッチャ一、ややくずれる。うちのチームの欠点はビ



いや確かに投球フォームは良かったデス。ただ……ボールはホームベースまでとどきませんでしたけど。



勝ってこのカップをもらうんです
……とは試合前の話。

ツチャ一の替えがないということで、立候補したやつはいたこたいたけど、一回もストライクが入らず、全員一致ではさされたことがあり、彼しかいない。なんとかがんばつてほしいの願いもむなしく、相手のバットはカンコラキンと鳴りひびく。あの回で何点入れられたのかなあ。うちのスコアラーは、点数聞きに行くと極端に不機嫌になる。長いながら一回が終り、五回のうちの攻撃、なんとか一点取り返ししたものの、その裏、またまた相手チーム名のごとく、はてしらず攻撃は続き、とうとう不名誉にも情けなくもコールドゲームの宣告。ラジオで喋つたもんだから、はるばる姫路から女の子の子が応援に来てくれたのに、ノコの見せ場は与えられず、十八対一で我ゼロは負けたのでありました。

なんでえ、なんでえ、仕事でだつたら絶対起きない、

六時に起きて、バッヂリユニフォーム、背番号はカネヤンと同じ34、着こんで来たのに、出たのは入場式と表彰式だけ。みんなむつり弁当を食べ、三々五々草むらにひっくり返つて寝てしまった。

今日なんか、外野フライだつてちゃんと取れたのになあ。まあ、一歩ずつやつてかなくちやあ。しかし、こうなりや王ポジションを獲得しようと思つたらピッチャ一しかないなあ。いつちよ、水原勇氣みたいにがんばつべえか。赤毛のサウスボート本も面白かったもんなあ。なお、これは当方によつた關係なく、当日は神戸二紀が優勝したということをついでながらしるす。



動物園飼育日記 — 147 — 龜井一成



●ほんまもんチンパンジーへの特訓〈IV〉

えっ！ 神ちゃんにお嫁さんが…



モンチッチと名づけられた、まさにおもちゃ的인形の猿なんか恐いことあればん。ギュッとわし握み、エイツと投げすて、あとは布切れ扱いだ。
その神ちゃん、縮尺何分の一という見事な出来ばえ、剥製のようなゴリラの人形には、毛を逆立て、顔は青ざめ、近づくこともできなかつた。

頑具に持たせていたボールを投げつけ、親の膚代りかたきも離さずしがみつく毛布を、エイツと広げるようやはり投げつけ、そのゴリラの人形にかぶせる。とにかく直接手で触れることを極度に恐がる。だからといつ

銀太と同居生活をはじめた神ちゃんと筆者



て相手が“何者”であるかという確認行動はやめない。人間なら、知能の発達とともに親と他人の違い、さらには動物と人間との区別もできるが、その発達段階において、自分自身の姿を自覚する手がかりに“鏡”という文明の器具を使う。だが、そうした器具を持たない動物がどのような手順で自分を判別するのであらうか。例えば原産地の違う幾種類のもの子サルを同居させると、明らかに同じ種類のもの同士が集まる。ベンギンもカモもそうである。鏡を持たない彼等はいったい“本能”だけが手がかりなのであろうか、この仲間の確認についての行動にはナゾが多い。

神ちゃんもまたそうであつた。モンチッチと剥製的なゴリラの人形への反応が明らかに違つた。

いや、そうした、相手の判別をする神ちゃんに「エーブ神、お前にはちゃんと物を見分ける知能があるんや！」と過保護ババといわれようがいつこうにかまへん。私は大いに声援を送つてやつた。

さて、次のプログラムへと進み、人形から、ほんまもんのチンパンジー“銀太2才”を神ちゃんと同居させ、人間以外の動物、いや同じ仲間との生活体験をさせる」とになつた。

この銀太については幾度か記したが、ここでもごく簡単に知つて頂こう。
幾らよく似た人形とはいえ、神ちゃんの確認行動に対して何の反応も示さない。結果的には布切れ扱いとなつた。そうした折り、神ちゃんの兄、銀ちゃんの長男、銀太が母ユキの母乳で育ち、もう独りだちを迎えるようとする時期だつた。

そこで時折り母親から借りうけ、その銀太との同居によつて、神ちゃんにほんまもんチンパンジーとの生活体験を持たせようという試みを実行したのである。

【すがる銀太に逃げる神ちゃん】

たつた今まで母親に抱かれていた銀太は幾らやさしくしてやろうが、ほんまのチンパンジー神ちゃんを見たと

たん、私をふり切つて神ちゃんのオリの中へ駆けこんだ。銀太はまさしく救いを求めてすがりつこうとしたのである。

だが、駆け寄られた神ちゃんにとつては動かない人形しか体験がなかつたから、それこそ、必死の悲鳴をあげ逃げ回つた。右に左に、上に下にと神と銀太は互いに疲れ果ても、だめだった。「銀太、かんにんしてよ、何もかもが神ちゃんのためや、でも、母さんの元へは必ず返してやるから……」

最初は短時間の同居から、宿泊までさせ、母親から銀太を借りること五度。もうずい分とどちらもが落着き、銀太の動きに逃げていた神が、次第に近寄りはじめ、手



すがる銀太に逃げる神ちゃん

指を触れはじめた。そして、形勢が逆点した。「神ちゃん仲良くしてよ！」と差し出す銀の手をひっぱたく。さらには頑具を投げつけるという、相手が弱いと知つたら、幾らでも大抵な態度にエスカレートしていく神ちゃん。「コラ！ 神ちゃん、悪いぞ！」という、凄い人だからの視線は、ちっちゃな銀太への声援にかわつていった。

【えつ！ 神ちゃんにお嫁さんが！】

さて、こうした神ちゃんの特訓は、何もかも私のプログラム通り、仮りに銀太と折合が良くなり、抱きあう神と銀太になつたとしても、実の所、どちらも「男の子」と縁談をもちかけていたんですよ？

その日、去る十月九日銀太を連れ出しはじめ、僅か二ヵ月余り、銀太との同居六度目、今度は昼夜の同居を少々争つても数日は続けてみよう。つまり、本格的に同居させる手順だつた。

「少々咬みますが、一度見ませんか！ もう今回で当分は輸出許可が出ないと原地業者がいっているので……」

と運ばれてきたのは午後三時前、オリの中でうずくまつている、何だか哀れな姿のチンパンジーに呼びかければ、そろりと僕の顔を見あげてさだ。

「うん、いい顔してる」それに気に入つたのは、ちっちやなお尻を僕に向けてきたのである。

そろり、指先で触れて僕からもあいさつしてやつたら、背も頭も金網越しに寄せてきた。

「この子載きましょう」

うれしかつたです……。

運ばれてきたオリから出してやるにも咬みつくので業者の方々も一度も触れたことがないという。生後三才半、すでに永久歯に換わりはじめ、もう独り立ち、親の胸にすがりつくことをしない。オリから連れ出そうとした私の手にも咬みついてきた。

だが、その後尻をむけてくる。つまり、お尻のプレゼンティングだ。

「よしよし、かまへん、恐いことばっかりの連続だったにちがいないんや！」

「はよ、神ちゃんと仲よくなつておくれや！」と思わずいい聞かせながら、何度も、メスであることを確認しようとしたら、私に突然、キヤッ！ 受けとめた右手に力まかせ咬みついてきた。痛さとしたたり落ちる血に、「よし、この子はほんまの嫁さんや！」

そのお越し入りをじーと見入つていた当の神ちゃん、毛を逆立て相変らず銀の時同様逃げ腰だった……。

その嫁は「アキちゃん」と名づけてやつた。

心あたたまるおいしさ贈ります。
自然の風味のユーハム。



ドイツ菓子
Fuerlein's
ユーハム

このマークのお店でお買い求め下さい。
本 店 神戸市生田区下山手通2-31 TEL (078)331-1694
三 宮 店 神戸市生田区三宮町3-15 TEL (078)331-2101
さんちか店 神戸市生田区三宮町1-1 TEL (078)391-3539
西ドイツ本店 フランクフルト・アム・マイン・アム・ザルツハウス1
ゲーテハウス内 TEL (0611)280262-3



きもの工芸

おんがら庵

本部・仕入部	神戸市東灘区青木五丁目一五九〇（代）
本 店	神戸市生田区三宮町二丁目一五九八（代）
さんちか店	神戸市生田区三宮町一丁目一五九八（代）
銀座コア店	東京都中央区銀座五丁目八二〇〇（代）
銀座メルサ店	東京都中央区銀座五丁目七一一（代）
渋谷東急店	東京都渋谷区道玄坂二丁目二四一（代）
日本橋東急店	東京都中央区日本橋通一丁目九一二（代）
池袋パルコ店	東京都豊島区池袋一丁目二八二（代）

(四階きものコア)
(五階異服売場)
(四階異服売場)
(四階きもの小路)

電話〇七八一四五二一五九〇（代）
電話〇七八一三三一五二九八（代）
電話〇七八一三三一一七〇〇（代）
電話〇三一五七三一五九八（代）
電話〇三一五七四一八〇六五（直）
電話〇三一四七七一三四〇九（直）
電話〇三一二一一〇五一（代）
電話〇三一九八七一〇五六一（直）

こんにちは赤ちゃん



八尾美也子ちゃん / 芦屋市打出小槌町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大根町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

幼児歯科 小児歯科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前 9時30分

金曜日 午後 1時30分

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3



神戸子と健康

流れの ままに……



幸いなことに、今住んで
いるところは、近くに農家
があり、季節の野菜などを
折々持ってきてくれる。そ
の老爺と懐かしいヒロシマ
の方言で語り合えるのも楽
しい昨今である。△翔雲▼
ひととき
カルシウムイオン水で団らんの

一睡の後の水はうまい。
うまい水といえば……子供
のころ飲んだ赤土山の岩か
げに湧く清水の味が忘れら
れない。その頃の子供たち
は、そんな秘密の場所を幾
つも知っていたものだ。

少年のころ存分に遊び呆
けた僕は、親となつた今も
子供たちには何でも好きに
させている。何やら雑文ら
しきものを夜中まで書いて
いる子もあれば、バレエに
夢中の子もいる。犬もドジ
ヨウもフナもインコも青む
しもわが家ではすこぶる元
氣で、こわいほどたくまし
い。

★11月のファミリーは
村上 翔雲さん
<書家>
百合子さん
エリさん
<高校生>
恵子さん
<中学生>
真紀さん
<小学生>

総発売元・技術指導

旭硝子株式会社

本社〒100 東京都千代田区丸の内2ノ1ノ2
(千代田ビル) 特品営業部☎(218)5574

代理店

株式
会社 **J-ペ**

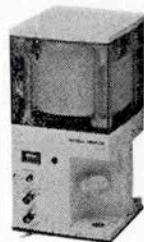
〒651 篠路区坂道通1丁目1ノ20

078(251)3531(代)

健康機器販売部 251-3593・4

販売価格 59・50円
割賦販売 10ヶ月もあります

活性カルシウムイオン水生成器
は水道水を急速に電解処理して活性カルシウムイオン水(アルカリ水)とアストリンゼン液(酸性水)を同時にくります。この「ナチュラルミネラルアサヒ」の特色は、①旭硝子が開発した特殊電極②素焼
用にも有効で、酸性に傾きがちな
体液を理想的な弱アルカリ性に保
つ働きをします。この「ナチュラ
ルミネラルアサヒ」の特徴は、①
は最高級②便利な連続取水機構③
シンプルなデザイン④生成時間は
わずか5分⑤徹底した安全設計⑥
付属品も万全です。



●活性カルシウムイオン水

命の水

日本製

ナチュラルミネラルアサヒ

△その1 ▽家族向き五キロコース

網敷天満宮—須磨寺—高倉台—旗振山—須磨浦公園

旗振山

武田芳一

△作家▽



旗振り茶屋にて主人(右)より話を聞く筆者

で、みな同じ感じである。高倉台は高倉山を切り取つて出来た街である。

この山の土は港の埋立てに使うので、浜まではベルトコンベアで運び、そこからは船に積み、船はタグボートが曳いて埋立場へ行く。そしてトラック何百台分の土は一挙に海中へ落されている。この着想は前市長のアイデアである。

計画では高倉山から八千萬立方米の土を取る予定だったが半分の四千萬立方米取ると、須磨の住民から反対があらわれた。八千萬立方米取ると、高倉山は殆どなくなる予定でそれを宅地に売出して埋立資金に回す予定が、半分しか実現しなかった。土は入用だから奥地の苦情ない山へ延長して取らねばならない。それだけ費用は高くなつてゆく。それでも足りないので淡路の山からも運んでいる。船から見るとその生々しい削り跡がよく見えるのを私は遠望したことがある。

台地の西側は急斜面で削りあとはエニシダにおおわれながら歩くのも楽しい。そんな碑を読みながら寺の境内を走っていると、萩の咲く寺務所の窓から一絃琴の音がきこえてきた。

墓地をすぎて、高倉町の住宅街を通り、第一神明道路の陸橋を渡つて、谷あいの舗装道を出ると、高倉中学の運動会の予行演習を見下す道を進んで住宅街へ入つた。住宅はどこも同じのプレハブのサッシュに扉。形はそれぞ異っていても建材はみな出来合品が使われているの

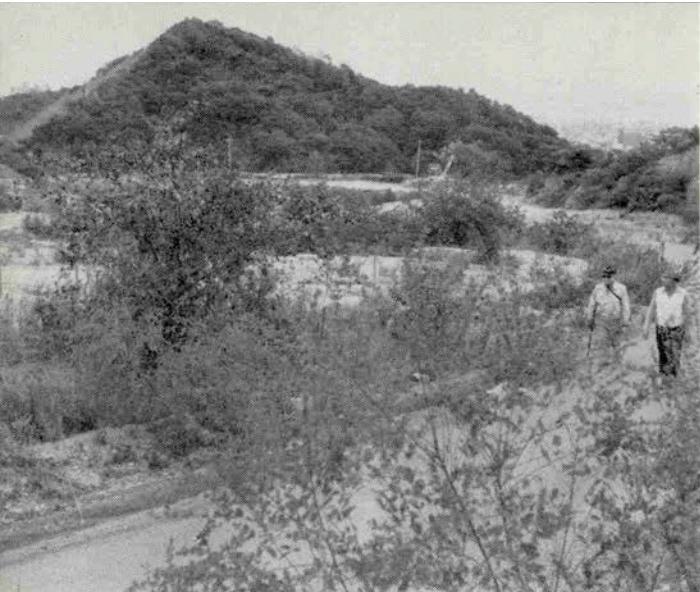
須磨はいたる所に史跡や句碑が立つてある。それを読みながら歩くのも楽しい。そんな碑を読みながら寺の境内を走っていると、萩の咲く寺務所の窓から一絃琴の音がきこえてきた。

墓地をすぎて、高倉町の住宅街を通り、第一神明道路の陸橋を渡つて、谷あいの舗装道を出ると、高倉中学の運動会の予行演習を見下す道を進んで住宅街へ入つた。住宅はどこも同じのプレハブのサッシュに扉。形はそれ

ぞ異っていても建材はみな出来合品が使われているの

須磨はいたる所に史跡や句碑が立つてある。それを読みながら歩くのも楽しい。そんな碑を読みながら寺の境内を走っていると、萩の咲く寺務所の窓から一絃琴の音がきこえてきた。

墓地をすぎて、高倉町の住宅街を通り、第一神明道路の陸橋を渡つて、谷あいの舗装道を出ると、高倉中学の運動会の予行演習を見下す道を進んで住宅街へ入つた。住宅はどこも同じのプレハブのサッシュに扉。形はそれ



急斜面に削り取られた台地をあとに旗振り茶屋へ向う

し、当局も発展の大義名分で、金儲けや利益につながるものも事実である。

東屋から尾根道の階段を少し上ると、地道の尾根道になつた。舗装道より地道を歩く方が山道の感じをより味う。この尾根を二十分ほど登ると、目指す旗振の頂上だつた。

旗振茶屋はトタン張りの粗末な山茶屋だが昔のムードがあつた。老主人の話は、この辺は源平の古戦場だから沢山の将兵が戦死したか、夜になると馬の嘶きや、鎧の摺れ合う音や、人の呻き声がきこえる時があるという。講談師みて來たような嘘をいいではないのか。この山でそんな大合戦があつたとは思えない。一の谷の隣の谷も赤旗谷といい、平家の赤旗が立つていたからだという。義経がひきいた奇襲部隊はただの七十騎だが、残りの兵隊は塙屋、下畑から攻め上つたかも知れないが、時間的には義経より遅れていたのではないか。私は義経は

東屋から尾根道の階段を少し上ると、地道の尾根道になつた。舗装道より地道を歩く方が山道の感じをより味う。この尾根を二十分ほど登ると、目指す旗振の頂上だつた。

の谷へは来ていないと思う。鶴越えの逆落しはここでなく、もつと東の丸山の奥の鶴越から刈藻川そいに下つて、一ヶ氷に和田の泊りの御座船を襲つたとみるべきで、義経の目的は三種神器を奪い返すのが目的だったと考える。地形からみても敵の根拠地深く潜入できる地形である。この川の所々には平家の公達戦死の史跡もある。

も一つ古文書では、「大鳥とべず鶴のみとぶ険しい所」とある。鳥は地形の険、不険には関係はない生物である。「険しい」の形容詞を、地形のものと誤読したので、こんな伝説になつたのではないか……。

帰途は一の谷のコースをとった。私は十代にこの坂を下つたことを思い出した。その時初めて史談会の例会に参加した時である。

須磨寺や一絃琴に萩こぼれ。
講師は福原会下山人でなかつたか。羽織に袴、黒足袋
利休下駄で、資料の包をさげて、杖もつかず、ひよい
よいと天狗のように下りて行つた姿を、いまでもあり
りと思い出す。それから五十年以上にもなるのに。



△その2 ▽一般向き八・三キロコース

神鉄大池駅—石楠花谷—ダイヤモンドポイント—摩耶山

渓流と樹間の楽しみ

諸岡 博熊

△神戸市企画局参事▽



ダイヤモンドポイントから北を望む

神港高校の看板のところで左へ直進すると地獄谷コース。ここを右折して下り、石楠花谷からの流れを横切つて、いよいよ登りにかかる。

見知らない他人と口をかわし、互いにかばいあつたり、はげましあつたり、汗も疲れも吹き飛ぶような心の寛容と連帯感、そして頂上に着いたときの共感。大都市のなかで、ハイキングを通じてこのような感激にひたることができる六甲山は、神戸の市民の誇りと思う。

さきの分岐点から約十分許りで、ダムを二つ高巻きする。ここから道は細くなつて、一列でしか歩けない。渓流を渡つたり、樹間を歩いたりしながら、ダムから三十分許り登ると小さな滝に出合う。シャクナゲがないかとウロウロする。シバハリが目につく。香り松茸、味シバハリ茸といわれるもの。でもまがいものの茸が多いので用心のこと。シバハリは傘の裏側が網状になつていて、シバハリによく似た茸は放射線状になつていて。

二俣の谷筋を左へ左へとつていくと、滝が二、三あらわれる。左へ右へと高巻きする。水流の多いときは沢歩きで滑り易いから、足元要注意である。樹間から涼しい風が吹き最後の水無谷を急登すると、地獄谷西尾根ルートに突然飛び出す。急にまわりが明るくなつて、今までのウツソウとした感じから陽の照る山道の向う側に

地獄谷が見え出し、大きな岩塊に道が塞がれる。二俣のところに道標があるので、迷わずここまで約三十分で登れる。あと十分でダイヤモンドポイントだからこの岩で折する。さらにT字路を左折。神港高校グランドの看板を目印に進む。このあたりまで、大池団地内を通行する自動車に注意が必要。約三十分。一・八キロ。

石楠花谷コースには約五〇〇人の家族、グループ連が参加。

石楠花谷コースを選んだのは「シャクナゲ」の木がないかなあと思ったからだけ。ちなみに、この木の花は春に開花、ツツジの頃や赤い花を咲かせる。

大池駅から南へ直進してT字路につき当り、そこを右折する。さらにT字路を左折。神港高校グランドの看板を目標に進む。このあたりまで、大池団地内を通行する自動車に注意が必要。約三十分。一・八キロ。



溪流や小さな滝を巻いて歩く石楠花谷ヨース

休まないこと。この岩は、かつて、外人の六甲登山雑誌『INAKA』に紹介されていたもの。

大池駅からゆっくり歩いて、渓流と樹間の冷気を楽しむながら、約二時間弱でダイヤモンドポイントに着く。分岐点から約二・二キロ。ここからは、裏六甲の感じと変わった明るい表六甲側のハイクコースとなる。

秋の落日を眺める最高の地点としてその名がつけられたのだが、あいにく、ここでは休憩・昼食。谷合いから遠く淡路島、瀬戸内が見える。残念ながら夕日には時間があり過ぎる。またの日の楽しみにとつて置くこととする。

この場所には日陰がないが、遠く瀬戸内が見え、また大池団地が足元にみえ、なんだか腰を下ろしたくなると

大池駅からゆっくり歩いて、渓流と樹間の冷氣を楽しむながら、約二時間弱でダイヤモンドポイントに着く。分岐点から約二・二キロ。ここからは、裏六甲の感じと変わった明るい表六甲側のハイクコースとなる。

ころだ。各自は思い思いにビニールマットを布いて、楽しい話をしながらにぎやかな食事タイム。ぐるりをみわたすと、おにぎりあり、ラーメンあり、コーヒーあり、飯盒炊飯あり、まさに食の一大文化戦争。

同行者の言によると、六甲にはシヤクナゲが生育していないとのこと。「いやあるところは知っているが。教えると抜かれるのです。」

ダイヤモンドポイントから三国池に向って、山荘の間を歩く。道標に注意しないと大まわりになるので「六甲全山縦走」の道標をたどるといい。山荘のデザインや持ち主の名前など新発見があつて結構楽しい時間が経つ。ドライブウェイを横断してサウスロード、自然の家と園地に着いた。午後二時。

ここからの市街地の眺めはすばらしい。上高地有名なウェストンは、明治の初め神戸にやつてきて、神戸を起点に日本アルプスの探索をしたが、その紀行文の中で東洋一美しい港だと神戸港を紹介しているが、この山上からはそれが手にとるようにみえた。



★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

<神戸のファッション都市化をめざす>

K. F. S. news 38

事務局／神戸市生田区東町113-1

月刊神戸っ子内 TEL (078) 331-2246

NEWS 3



シースルの黒のドレス

9月21日阪急17番街の毛皮店ミネットのショーアの協賛に、市野木ニッティングスタジオ(☎331-6731)が。市野木江充子さんが担当しました。黒ラメのパンツやドレス、紫のパンツ、銀と黒のワンピースなど18点。光沢のある素材を使ったシースルーで女っぽい市野木さん得意の作品ばかりでした。「これからは積極的に、違った素材と組み合わせてショーをしていきたい」と、毛皮と初めて組み合わせたショーの感想を述べていきました。

この秋の市野木ニ

ッティングスタジオ

のショーは11月8日
風月堂地下ホールで
す。12時し、2時半
し、6時しの3回。「今年の自信作よ」と谷川さん
あどりえ・ふみこにて

日頃の谷川さんの活動が伺えるコレクションでした。当日はピンクのシルクを手編みで編んだロング・ドレス姿。フランス製の糸とかいう淡いミックス色の凝った編み目。これからも頑張ってください。

K. F. S. IN AUTUMN

NEWS 1



ファッショントン・マンスリー参加の、モードサロンクニ(☎871-4149)のショーが9月20日国際会館で開かれました。「大きなショーリーは初めて」という小倉久仁子さんですが、京都でオリジナルに染めた生地を使ったロングドレスが42点というはりきり方。「愛と夢とのシンフォニー」というテーマに

相応しい華麗なショーになりました。

ステージは布地の特徴で「花園」「縞」「優雅」と名前のつけられたドレスごとに景が変わる構成。シンプルでエレガントなデザインに、小倉さんの性格がうかがえました。

杉野ドレスメイカーで小倉さんを指導された鈴木美知慧さんも応援にかけつけ、オリジナル作品の提供でショーの成功を祝いました。

お知らせ '78クリスマス・パーティ 12月15日(金) 7 PM
場所／サント・ノーレ北野店(☎241-1740) 会費／5,000円
踊れるお店です。お洒落していらっしゃってね。

NEWS 2

西宮北口で地道なオリジナルニットの活動を続いている谷川文子さん(あどりえ・ふみこ(☎0798-64618))の'78秋冬コレクションの展示会が開かれました。

今回は、今までと少し趣向の変わったパーティドレス、黒ラメの透けたハーレム・パンツのスリーブや、金ラメのブラウスとロマンティックな大人っぽい作品が見られました。またアンゴラのカジニットの組み合わせ、ミックスの糸のブルゾン等今迄の谷川文子調の着やすいスポーティな作品、極細モヘアのショール、手袋などの小物。